令和 9(2027)年度採用　日本学術振興会特別研究員に本学を通じて申請する予定の方へ

本学を通じての学振特別研究員への申請について

立命館大学　研究部　RARA オフィス

令和 9(2027)年度採用の日本学術振興会(以下、JSPS)特別研究員への本学を通じての申請について、次のとおり実施します。申請にあたっては、必ず JSPS が公開する募集要項等を熟読のうえ、その定めにしたがった申請書の作成を心がけてください。

構成

前提. JSPS 発行の募集要項とそれを踏まえた申請資格、申請方法など
I. 特別研究員の資格別の機関内申請期限と全体スケジュール
II. JSPS 特別研究員　電子申請システム ID 発行について
III.【DC1、DC2 申請・学内者限定】本学採択者の申請書閲覧と大学事務局による「基礎点検」について
IV.【DC1、DC2 申請・学内者限定】その他、お役立ちコンテンツの紹介
V.【PD、RPD 申請者必読】本学での「直接雇用」について
VI. 問合せ先
VII. 主な改訂履歴

前提. JSPS 発行の募集要項とそれを踏まえた申請資格、申請方法など

1. JSPS 発行の募集要項などのリンク先

必ず下記サイト掲載の資料を読んでください。

(1)募集要項掲載先：　DC1,DC2,PD 申請は　こちら　／　RPD 申請は　こちら

(2)「学振電子申請システム」のリンクは　こちら　(リンク先左側の「申請者ログイン」を押下してください)

(3)「電子申請システム操作手引」(申請者向け)のリンクは　こちら

2. 申請資格

令和 9(2027)年 4 月 1 日現在に以下の身分であること

区分	対象者
DC1	博士課程後期課程の 1 年次・一貫制博士課程の 3 年次・4 年制博士課程 2 年次に在籍する者(進学予定者含む)
DC2	博士課程後期課程の 2,3 年次・一貫制博士課程の 4,5 年次・4 年制博士課程 3,4 年次に在籍する者
PD	以下の①～②全てに該当する者 ①　次の条件を満たす者 ＜学位＞博士の学位を取得後 5 年未満の者(申請時においては、見込みでも良い。) ＜受入研究機関等の選定＞※ ・大学院博士課程在学当時(修士課程として取り扱われる大学院博士課程前期は含まない)の所属大学等研究機関以外の研究機関を選定すること ・受入研究者については、大学院博士課程在学当時の指導者以外を選定すること。 ②　申請時に日本国籍を持つ者、又は日本に永住を許可されている外国人
RPD	以下の①～③全てを満たす者。年齢・性別は問わず、特別研究員-PD への同時申請を妨げない。 ①　博士の学位を取得している者(申請時においては、見込みでも良い。)。 ②　次のいずれかに該当する者。 1) 2026 年 4 月 1 日時点で未就学児を養育しており、その子の出産・育児のため、2013 年 10 月1日から 2026 年 3 月 31 日の間に 6 週間以上研究活動を中断した者。

	2）出産又は疾病や傷害のある子を養育したため、 2015 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の間に 6 週間以上研究活動を中断した者。 3）1),2)いずれでもなく、2026 年 4 月 2 日以降出産し、その子の出産・育児のため、 2025 年 10 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日の間に 6 週間以上研究活動を中断した者（予定含む）。 ③　申請時に日本国籍を持つ者、又は日本に永住を許可されている外国人

※受入機関等の選定は特別研究員等審査会においてやむを得ない事由のいずれかに該当すると判定された場合のみ、特例措置が認められる。ただし、一部例外あり。

3. 申請の流れ

JSPS 電子申請システムを通じて申請書一式を JSPS へ提出するまでの大まかな流れは以下のとおりです。受入研究機関の定めた期限を踏まえ、申請手続きを行ってください。

（1）JSPS 電子申請システム ID を取得する。（未取得者のみ。過年度立命館大学で取得済みの場合、再利用可能）

（2）同システムを通じて申請書一式を作成する。

（3）（2）と同時に「評価者」に評価書の作成依頼をし、所定の期限までにそれを作成いただく。

（4）受入研究機関の定めた期限までに同システム上で申請書の内容を確認し、「確認完了・提出」する。

（5）受入研究機関が同システム上で申請書提出状況を確認し、JSPS へ電子申請する。

I. 特別研究員の資格別の本学機関内申請期限と全体スケジュール

1. 特別研究員の資格別の本学機関内申請期限

本学では資格別にそれぞれ以下の機関内申請期限を設定しています。期限内に手続きを行ってください。

いかなる理由があっても期限遅れの救済措置は行いません。

（例：PC の故障/急な体調不良で機関内申請期限に間に合わなかった。指導教員から締め切りのことを聞いていなかった。等）

資格	機関内申請期限
DC1、DC2、PD	5 月 28 日（木） AM10:00
RPD	5 月 10 日（日） 23:59

2. 全体スケジュール

日程	DC1, DC2	PD	RPD
3 月上旬	令和 9（2027）年度採用申請にかかる学内スケジュール等の広報開始		
3 月 25 日（水） 17:00～18:00	採用申請ガイダンス（Zoom ウェビナー形式。こちらから事前申込のこと）		
4 月上旬	学振電子申請システムが開局次第、機関内申請開始		
4 月 10 日（金） 17:00	電子申請システム ID 新規発行依頼 期限		
4 月 17 日（金）	評価者への評価書作成依頼（推奨期限） 【※】		
5 月 1 日（金）	「基礎点検」希望申込開始 （III-2 参照）		
5 月 8 日（金）			評価者による評価書作成期限
5 月 10 日（日） 23:59			機関内申請締切 （電子申請システム提出締切）

5 月 11 日(月) AM			学振への電子申請作業【大学】
5 月 11 日(月) 17:00	「基礎点検」希望申込終了		学振設定の電子申請締切
5 月 13 日(水)	事務局による基礎点検開始 (順次返却)【大学】		
5 月 19 日(火)	事務局による基礎点検・返却終了【大学】		
5 月 27 日(水)	評価者による評価書作成期限		
5 月 28 日(木)　AM10:00	機関内申請期間　締切	機関内申請期間　締切	
5 月 29 日(木) ～6 月 2 日(火)	学振電子申請システム上で申請書作成未了者への督促等を実施の上、学振へ受入研究機関としての提出手続きを実施【大学】		
6 月 3 日(水) 17:00	学振設定の電子申請締切		

【※】 評価者が電子申請システム上で評価書を提出しなければ、申請者は機関内申請することがシステム設定上できません。そのため、評価書の作成依頼は極力早めに行ってください(過去の採択者は、申請書を完成させる前から評価者へ評価書作成を依頼している方が殆どでした)。また、依頼時には「評価書作成者向け操作手引(簡易版のリンク)(詳細版のリンク)」のリンクを紹介することも推奨します。

II. JSPS 特別研究員　電子申請システム ID 発行について

申請は全て JSPS の電子申請システムを通じて行う必要があります。また、電子申請システムの ID は、特別研究員として採用された場合の受入研究機関を通じて申請する必要があります。

※DC1 申請者のみ、申請時に在学する大学院又は出身の大学院が属する大学(ただし、海外の大学院に在学中又は出身の大学院が海外の場合は受入研究機関)で申請

■はじめて本学を受入研究機関として申請する方

学振特別研究員 電子申請システム ID「新規」発行依頼フォーム から申請してください。

なお、発行依頼期限までに依頼いただいた分は、2～3 営業日以内を目安に発行します。

【参考】電子申請における採用後の受入研究者および所属研究科等の名称について

■過去に本学を受入研究機関として申請したことのあるものの、失念してしまった方

メールアドレス<grad-sch@st.ritsumei.ac.jp>へご連絡ください。

ただし、メール本文に「①戸籍名、②戸籍名(フリガナ)、③生年月日」を漏れなく書き、メール件名を「学振電子申請 ID のパスワード再発行依頼」と記入してください。(情報不足があると発行が遅れます)

2～3 営業日を目途に初期化したパスワードをお送りします。

III. 【DC1、DC2申請・学内者限定】本学採択者の申請書閲覧と大学事務局による「基礎点検」について

1. 本学採択者の申請書閲覧

学内者に限り、過去の採択者の申請書をオンラインで閲覧することができます。下記 moodle+R 内掲載のファイルをダウンロードし、閲覧してください。

※オンライン閲覧はファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」を用いて行います。

※オンライン閲覧にあたってはダウンロード不可・スクリーンショット不可としています。
また、不正利用防止のため、アクセス・操作ログを取得させていただきます。

＜「オンライン閲覧」の利用フロー＞
(1)こちらのサイトから閲覧用アプリ「FinalCode Client」をダウンロードし、ご自身の PC にインストール、大学のメールアドレスでユーザー登録する。
※アプリの動作環境は Windows のみ。詳細はこちらをご参照ください。
※大学内に設置されている PC ではインストールできません。
※ダウンロードファイルの誤りが無いようにしてください。
※インストールの手順はこちらの動画、ユーザー登録の手順はこちらの動画をご参照ください。
(2)採択者の申請書掲載先(moodle+R 内)から過去の採択者の申請書ファイル(拡張子「.fcl」)をダウンロードする。
(3)(2)でダウンロードしたファイルをダブルクリックして開いてください。
(過去の採択者の申請書 PDF が開きます)

2. 大学事務局による「基礎点検」

希望者分(DC1,DC2 申請者かつ学内者限定)のみ申請書の記載要件漏れがないかといったレベルの基礎的な点検を事務局にて行います。希望者は下記期限内に申込をしてください。
※特別研究員としての採用を保証するものではありません。まずは、ご自身でしっかりと点検することを前提としてください。また、研究計画の内容そのものへのコメントは行いません。

＜「基礎点検」のフロー＞
(1)基礎点検申込期間中(5 月 1 日(金)～5 月 11 日(月)17:00)に下記より申し込む。
基礎点検申込フォームはこちらをクリック
(2)5月 11 日(月)17:00までに学振電子申請システム上で「申請内容ファイル」をアップロードする。
※この時点の申請書データ(主に「申請内容ファイル」)を元に、事務局にて基礎点検を行います。
※この時点では「提出完了・確認」ボタンを押下しないでください。
(3)事務局が申込者の申請内容ファイルの点検を行い、5 月 19 日(火)までを目安に、順次点検済みデータを申込者へ RITSUMEIKAN STUDENT PORTAL(RARA オフィスからの個別通知)で返送する。
※不備と思わしき箇所について、蛍光マーカーをしたデータの返送になります。(コメントはありません)
※事務局からの返送を待たずに、ご自身でお手元の申請内容ファイルの修正を進めていただいて結構です。
(4)申請者は(3)を参考に申請書の修正を行い、5月 28 日(木)AM10:00までに申請書を提出する。
※評価者からの評価書入力も完了している必要があります。
※ここでは、確実に学振電子申請システム上で「提出完了・確認」ボタンの押下をはじめとした提出処理を確実に終えてください。

IV. 【DC1、DC2申請・学内者限定】その他、お役立ちコンテンツの紹介

1. 「学振申請書の書き方とコツ」著者による特別セミナーのアーカイブ配信

2024年12月末に、学振特別研究員申請者のバイブルとも言える「学振申請書の書き方とコツ」の著者である大上雅史先生(国立大学法人東京科学大学・准教授)をお招きし、学振申請書を作成するにあたってのコツ・テクニックなどを講演いただきました。

講演内容（アーカイブ動画）や配布資料を moodle+R に掲載しているので、今回の申請の前に目を通しておくことを「強く」推奨します！！（しかも4月になる前から確認しておくと尚良いです！！）

moodle+R「大学院キャリアパス推進室＞・・・＞学振申請支援セミナー」のページは こちら

2. 今次の申請書書式変更に伴うガイド資料の公開

申請書の記入指示文や記入項目がこれまでのものから変更されています。ついては、変更箇所に関する留意点やこれまで多くの採択者・審査委員経験者からの話を踏まえた、申請書記入ガイド資料を moodle+R 上（下記）で配布します。申請書作成にあたって、ぜひご活用ください！！

moodle+R 大学院キャリアパス推進室＞・・・＞『特別研究員』制度について」のページは こちら

V.【PD、RPD 申請者必読】本学での「直接雇用」について

本学は JSPS「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業」（外部リンク）登録機関となっているため、特別研究員 PD,RPD 採用者は、本学直接雇用（職位：専門研究員）となります。そのため、以下のことに留意してください。

【留意点1】

JSPS の定めにより、従来のフェローシップ型の特別研究員になることはできません。

【留意点 2】

本学直接雇用となると労働契約法および「特例法」(※)との関りで、過去の本法人（学校法人立命館）との雇用契約内容次第では、「特別研究員 PD,RPD としての採用期間に影響が出る場合」や「本制度による雇用終了後、本法人の他の雇用職種への応募に制限が生じる場合」があります。（※研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律及び大学の教員等の任期に関する法律の一部を改正する法律）

【参考】本学が雇用する日本学術振興会特別研究員 PD 等の育成方針（立命館大学大学院キャリアパス推進室 HP）

VI. 問合せ先

立命館大学　研究部　RARA オフィス
学振特別研究員　採用支援担当
メールアドレス：grad-sch@st.ritsumei.ac.jp

※土日祝日、長期休暇を含む業務時間外の問い合わせについては、回答が遅くなります。

VII. 主な改訂履歴

日付	対象の章	主な改訂内容
2026/3/3	-	初版公開